

# さくら市 まちづくり報告書 別冊

～担当課による指標の分析～

令和2年2月

栃木県さくら市

# まちづくり報告書別冊について

## はじめに

第2次さくら市総合計画では、6の政策、27の施策、102の基本事業を上位の目標を細分化する形で定めており、これらのうち、施策と基本事業にそれぞれ成果指標とその目標値を設定しております。

市では、毎年度のまちづくりの結果を、成果指標を活用して評価することで、次の施策や事業展開に活かしています。まちづくり報告書では、各施策における状況について大まかに把握することを目的とし、施策・基本事業評価の結果を施策単位で掲載しましたが、本別冊では、各成果指標について分析した結果を掲載します。

### ■掲載例と見方の説明

- ①第2次さくら市総合計画の掲載順に政策と施策の名称を掲載しています。
- ②成果指標の推移から、評価する年度についての成果指標の評価を記載しています。  
◎：達成 ○：順調 △：横ばい ×：悪化 -：評価不能
- ③成果指標の基準値や直近の数値、目標値を掲載しています。
- ④成果指標の評価について、担当課が「状況」と「原因」に分けて分析した結果を掲載しています。
- ⑤施策に含まれる基本事業の名称を掲載しています。
- ⑥基本事業の成果指標も施策と同様に掲載しています。

## 政策Ⅰ 市民とともに築く自立した行財政

①



### I-1 市民ネットワークあふれるまちづくりの推進

②

③

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
市民と行政の協働によるまちづくりがされていると思う市民の割合	%	◎	41.6	56.4	58.6	44.0	総合政策課

状況：目標値を14.6ポイント上回り達成しています。

④

原因：市民の方の協働によるまちづくり意識の向上と、行政から市民へ協力をお願いするまちづくり事業の増加が大きな要因と考えられます。

⑤

### 01 市民と行政の協働の体制づくり

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
市民との協働により実施した事務事業数	件	◎	34	40	44	34	総合政策課

状況：平成29年度に比べ4件増加し、目標を達成しています。

⑥

原因：市民と行政の協働による業務や、イベントが定着してきたためと考えられます。

## 政策 I 市民とともに築く自立した行財政

### I -1 市民ネットワークあふれるまちづくりの推進

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
市民と行政の協働によるまちづくりがされていると思う市民の割合	%	◎	41.6	56.4	58.6	44.0	総合政策課
<p>状況：目標値を14.6ポイント上回り達成しています。</p> <p>原因：市民の方の協働によるまちづくり意識の向上と、行政から市民へ協力をお願いするまちづくり事業の増加が大きな要因と考えられます。</p>							
協働により市政が運営されていると感じる職員の割合	%	◎	54.9	59.3	58.9	57.0	総合政策課
<p>状況：目標値を1.9ポイント上回り達成しています。</p> <p>原因：市役所各課の業務を進めるうえで、市民との協働による市政運営が多くなってきたと実感する職員が増加したことによると考えられます。</p>							

#### 01 市民と行政の協働の体制づくり

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
市民との協働により実施した事務事業数	件	◎	34	40	44	34	総合政策課
<p>状況：平成29年度に比べ4件増加し、目標を達成しています。</p> <p>原因：市民と行政の協働による業務や、イベントが定着してきたためと考えられます。</p>							
委員を公募した委員会等の割合	%	△	23.3	23.5	23.5	25.0	総合政策課
<p>状況：平成29年度と同様の数値となっていますが、目標値は達成していません。</p> <p>原因：市民と行政で協働して取り組むまちづくりの意識は徐々に高まっていますが、公募しても応募がない委員会も多いことが原因の一つと考えられます。</p>							

02 市民活動の活性化

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
ボランティアをしている市民の割合	%	△	10.3	11.8	11.4	13.0	総合政策課
<p>状況：平成29年度より0.4ポイント減少し、目標値は達成していません。</p> <p>原因：ボランティア活動をしたい市民と、ボランティアを募集する団体とのマッチング不足が一つの要因と考えられます。</p>							
市民活動団体数	団体	◎	73	82	86	73	総合政策課
<p>状況：平成29年度より4団体増加し、目標値を達成しています。</p> <p>原因：既存団体が継続して活動し、且つ新たに地域交流やまちづくりを目的にした団体が設立されたことが原因と考えられます。</p>							

03 地域コミュニティ活動の活性化

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
自治会活動に参加している市民の割合	%	◎	44.3	47.6	49.6	46.0	総務課
<p>状況：H29年度と比較し、2.0ポイント増加しました。</p> <p>原因：自治会加入世帯の増加や自治会で自主防災組織の立ち上げに伴う防災活動及び各種活動により、自治会活動の参加機会が安定して推移していると思われます。</p>							
市民の自治会（行政区）加入率	%	◎	71.9	71.3	70.4	68.0以上	総務課
<p>状況：H29年度と比較し、0.9ポイントの減少。</p> <p>原因：昨年同様、自治会加入世帯数は増加しているものの、総世帯数の増加がそれ以上にあるため、加入率が微減となっております。</p>							

## I-2 適正な事務執行とサービス提供

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
行政事務の執行において法令違反等があった件数	件	◎	0	0	0	0	総務課
<p>状況：H30年度においても法令違反等はありませんでした。</p> <p>原因：適正な行政事務が執行されているためです。</p>							

### 01 快適な窓口サービスの推進

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
窓口の職員対応に満足している市民の割合	%	◎	87.8	90.9	92.3	90.8	市民課
<p>状況：平成29年度と比較して、2.3ポイント上昇し、計画目標値を超えています。</p> <p>原因：窓口の来客者に対し、積極的な声かけ等や丁寧な説明を常に心がけるとともに、市の総合窓口において担当課への的確な案内が行われているためと思われます。</p>							
個人番号及び個人番号カードを活用した独自利用の件数	件	○	0	3	3	10	総合政策課
<p>状況：独自利用の件数は3件で平成29年度と変化ありません。</p> <p>原因：マイナンバーの独自利用について、3件は引き続き利用できますが、新たな独自利用事務は追加されませんでした。</p>							

### 02 開かれた議会運営

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
議会で議論・議決した内容を知っている市民の割合	%	×	28.9	23.1	25.3	35.0	議会事務局
<p>状況：H29と比較し、2.2ポイント上昇しました。</p> <p>原因：ユーチューブによる議会動画配信や、議会だよりの電子書籍掲載といった伝達手段を用いて周知を図ってきましたが、政治・議会への無関心を払拭することができませんでした。</p>							

### 03 適正な財務会計の執行

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
定例監査、決算審査で財務会計行為が不適正とされた件数	件	◎	0	0	0	0	監査委員事務局
<p>状況：概ね適正です。</p> <p>原因：適正に財務会計行為が行われていたためです。</p>							

## 04 適正な選挙事務の執行

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
選挙事務が不適正とされた件数	件	◎	0	0	0	0	選挙管理委員会事務局
状況：概ね適正です。 原因：適正に選挙事務が行われていたためです。							

## 05 適正な会計処理

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
現金出納検査で会計処理が不適正とされた件数	件	◎	0	0	0	0	会計課
状況：不適正な会計処理はありませんでした。 原因：適正な会計処理が行われていたためです。							

## 06 外国人向けのサービス提供

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
行政等が外国人向けに発行した刊行物の件数	件	◎	5	10	11	10	総合政策課
状況：平成29年度より1件増加し、目標値を達成しました。 原因：外国人の生活サポートを更に充実させるため翻訳アプリ導入を実施し、その案内の刊行物を発行しました。							

## 07 適正な個人情報の管理

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
個人情報の漏えい件数	件	◎	0	5	0	0	総務課
状況：個人情報の漏えいはありませんでした。 原因：適正な管理が行われていたためです。							

## 08 適正な電算システムの管理

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
基幹電算システムがダウンした件数	件	◎	0	0	0	0	財政課
状況：システムダウンは0件です。目標値を達成しています。 原因：平成26年度にサーバのクラウド化及びネットワーク機器の更新を実施し、耐障害性が向上したことが大きな要因です。							

### I-3 適正な事務執行とサービス提供

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
効果的・効率的なまちづくり（行政経営）が進められていると思う市民の割合	%	◎	44.8	49.1	51.5	50.0	総合政策課
<p>状況：29年度より2.4ポイント増加し、目標を達成しています。</p> <p>原因：年齢別では「20～29歳」の、職業別では「学生」の、地域別では「氏家地区」の数値が特に高くなっています。</p>							
効果的・効率的なまちづくり（行政経営）が進められていると思う職員の割合	%	×	50.4	60.3	46.3	60.0	総合政策課
<p>状況：29年度より14.0ポイント悪化し、目標との差が13.7ポイントになりました。</p> <p>原因：職位・部門・職種別では、ほぼ全ての属性で数値が悪化しています。 職位別では「課長補佐・施設長」の、部門別では「総合政策部等」の数値が特に悪化しています。</p>							

#### 01 成果を重視した行政経営の確立

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
施策や事業の成果（指標）を意識して業務を行っている職員の割合	%	×	81.7	75.6	75.0	85.0	総合政策課
<p>状況：29年度より0.6ポイント悪化し、目標との差が10.0ポイントになりました。</p> <p>原因：部門別では「教育委員会」の数値が悪化しています。 ただし、数値が向上している項目も複数あります。</p>							
行政評価と予算・決算作業が連携していると思う職員の割合	%	×	57.4	52.3	52	70.0	総合政策課
<p>状況：29年度より0.3ポイント悪化し、目標との差が18.0ポイントになりました。</p> <p>原因：部門別では「建設部・上下水道事務所」の数値が悪化しています。 ただし、数値が向上している項目も複数あります。</p>							

## 02 職員能力と組織力の向上

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
人事評価・研修・OJTが有効に機能していると思う職員の割合	%	○	46.3	50.3	54.2	54.8	総務課
<p>状況：目標値は達成していませんが、29年度からは3.9ポイント増加しています。</p> <p>原因：人事評価結果の一部を処遇に反映させたためです。R元年度から前年度結果を勤勉手当に反映させたことから、ある程度数値の向上が見込まれると考えます。</p>							
組織・職員が市民・地域の問題や行政課題に関し迅速かつ適切に解決できていると思う職員の割合	%	○	65.1	65.6	67.8	70.6	総務課
<p>状況：目標値は達成していませんが、29年度から2.2ポイント増加しています。</p> <p>原因：事務事業評価等に基づき、業務の取捨選択を進めるなど、効率的な事務執行に務めていますが、休職等職員の増加に伴い、1人あたりの業務量が増加し、新たな問題や課題に迅速に対応することが困難なためです。</p>							
部門内・部門間のコミュニケーション・協力体制が良好だと思える職員の割合	%	◎	55.9	60.3	67.3	62.8	総務課
<p>状況：目標値を達成しています。</p> <p>原因：比較的小規模の人事異動等であったことにより、構築された職場の人間関係が継続できたことによるものと思われます。</p>							

## 03 職員定員の適正管理

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
人口1,000人あたりの職員数（公営企業等除く）	人	◎	6.60	6.83	6.85	6.94以下	総務課
<p>状況：目標値を達成しています。</p> <p>原因：適正な定員管理に努めたためです。</p>							

04 広域行政・交流の取組みの促進

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
広域交流などにより相互補完しているサービスメニュー件数	件	◎	18	19	19	18	総合政策課
<p>状況：29年度と同じ数値です。 目標を達成しています。</p> <p>原因：29年10月に茨城県の常陸大宮市と「原子力災害時における常陸大宮市民の県外広域避難に関する協定」を締結しました。</p>							
姉妹都市との交流イベントなどの件数	件	×	11	11	10	13	総合政策課
<p>状況：29年度より1件減少し、目標値は達成していません。</p> <p>原因：23年度から実施しているさくら市姉妹都市交流事業助成制度を利用する各種団体の交流イベントが減少していることが原因と考えられます。</p>							

05 広報・広聴の充実

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
市政情報の提供の満足度	%	◎	83.1	85.6	85.2	84.0	総合政策課
<p>状況：前回調査（H29年度実施）と比較して0.4ポイント下がっていますが、基準値（H26年）と比較して1.2ポイント上がっており、目標値（R02年）を達成しています。</p> <p>原因：ほぼ横ばいですが、移住定住HP、各種SNS、カタログポケット、さくら市観光ナビなどの発信する場所が増えたことが、目標値達成の原因と考えられます。</p>							
多様な市民の声をまちづくり等に取り入れる仕組みができていると思う市民の割合	%	◎	37.0	43.7	45.6	38.0	総合政策課
<p>状況：前回調査（H29年度実施）と比較して1.9ポイント上がっており、基準値（H26年）と比較して8.6ポイント上がっており、目標値（R02年）を達成しています。</p> <p>原因：行政評価や地方創生の取り組みがある程度、評価されているものと考えられます。</p>							

#### I-4 透明で健全な財政の確立

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
実質赤字比率	%	◎	赤字額なし	赤字額なし	赤字額なし	赤字額なし	財政課
<p>状況：普通会計において、実質赤字額が生じていないため、計画どおりの成果です。</p> <p>原因：歳入の決算額について、当初予算と比較して大幅な減額がなかったことによります。</p>							
連結実質赤字比率	%	◎	赤字額なし	赤字額なし	赤字額なし	赤字額なし	財政課
<p>状況：普通会計及び特別会計、企業会計において、実質赤字額が生じていないため、計画どおりの成果です。</p> <p>原因：歳入の決算額について、当初予算と比較して大幅な減額がなかったことによります。</p>							
実質公債費比率	%	◎	9.4	7.2	7.2	9.4	財政課
<p>状況：平成29年度と同率で7.2%となりました。</p> <p>原因：公債費は増加しましたが、普通交付税や臨時財政対策債発行可能額も増加したため指標の変動はなかったためです。</p>							
将来負担比率	%	◎	将来負担比率なし	将来負担比率なし	将来負担比率なし	将来負担比率なし	財政課
<p>状況：平成29年度と同様に、将来負担比率なしとなっています。</p> <p>原因：市債の償還等に充当できる基金残高が微増し、将来負担比率に影響を及ぼすことはありませんでした。(H29年度末 7,358,325千円→H30年度末 7,402,112千円)</p>							

#### 01 自主財源の確保

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
自主財源比率	%	△	52.2	52.6	52.0	53.0	財政課
<p>状況：平成29年度に比べ0.6ポイント減少して、52.0%となりました。</p> <p>原因：固定資産税評価替えに伴う市税の収入額が減額となったのが、主な要因です。(H29年度 7,060,313千円→H30年度 6,961,479千円)</p>							
市税収納率（国民健康保険税を除く）	%	◎	92.3	95.3	97.9	94.1	税務課
<p>状況：平成29年度に比べ2.6ポイント上昇し、目標値を達成しました。</p> <p>原因：財産調査を徹底し、滞納処分を実施しました。</p>							

02 公共施設の適正化

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
普通財産のうち未利用地の占める割合	%	△	44.3	43.7	43.9	42.0	財政課
<p>状況：未利用地の指標は前年度に比して0.2ポイント増加しました。</p> <p>原因：市営住宅2カ所の用途廃止により生じた未利用財産の内、年度内に売払いを完了したものが1か所であったため生じた数字であり、次年度に売払いを実施予定です。</p>							

03 計画的・効率的な財政運営

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
経常収支比率	%	×	85.9	90.3	94.7	85.9	財政課
<p>状況：4.4ポイント悪化し、94.7%となりました。</p> <p>原因：固定資産税評価替えに伴う市税の減、過去の大型の投資事業に伴う公債費の増、職員数増加に伴う人件費の増等が原因です。</p>							
市民一人当たり市債残高	円	○	380,718	389,439	372,612	350,000	財政課
<p>状況：16,827円減額し、372,612円となりました。</p> <p>原因：起債額が減少し償還額が上回ったのが原因です。</p>							

## 政策Ⅱ 福祉の充実と安心の社会保障

### Ⅱ-1 助け合いと支え合いの地域福祉

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
地域で支え合っていると思う市民の割合	%	×	64.3	62.1	58.6	66.8	福祉課
<p>状況：平成29年度から3.5ポイント減少しています。</p> <p>原因：アンケートの年齢別内訳によると平成29年度と比較して、40～49歳は4.6ポイント増加し、30～39歳は7.9ポイント減少しています。子育て世代に地域の支え合いの意識はあるものの、仕事との両立が難しいと推測されます。</p>							

#### 01 地域福祉の理解促進

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
地域福祉活動・福祉ボランティアを行っている市民の割合	%	△	9.4	11.7	11.3	11.9	福祉課
<p>状況：平成29年度から0.4ポイント減少しています。</p> <p>原因：アンケートの年齢別内訳によると平成29年度と比較して60～64歳は0.6ポイント、65～69歳は4.1ポイント増加しています。定年退職後に活動をする方が増えていると推測されます。しかし、他の世代が全て減少したため、全体として減少しました。</p>							
福祉関連NPO・ボランティア団体数	団体	◎	38	55	60	35	福祉課
<p>状況：平成29年度と比較して5団体増加しています。 NPO法人数 9団体 ボランティア団体数 27団体 ご近所ふれあいサロン 24団体</p> <p>原因：ご近所ふれあいサロンは、ここ3年で年平均3.6団体増加しており、地域における活動が年々浸透してきていると思われます。</p>							

#### 02 地域福祉活動の推進

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
各行政区で実施している地域福祉事業数	事業	◎	13	20	24	16	福祉課
<p>状況：平成29年度と比較して4団体増えています。</p> <p>原因：社会福祉協議会によるご近所ふれあいサロン助成金の交付団体数が24団体になったためです。また、行政区、氏家地区地域福祉ネットワーク会、喜連川地区社会福祉協議会等各団体にて実施している、助成金を申請するまでに至らないものも増加していると推測されます。</p>							
地域福祉事業を行っている行政区の割合	%	◎	16.0	40.0	41.3	17.3	福祉課
<p>状況：平成29年度から1.3ポイント増加しています。</p> <p>原因：ご近所ふれあいサロンの実施行政区数が1地区増加したためです。なお、ご近所ふれあいサロンは近隣の行政区と共同で実施しているところもあります。</p>							

## 03 見守り活動の推進

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
見守り活動の実践者数	人	×	60	53	52	90	高齢課
状況：平成29年度と比較して、1人減少しています。							
原因：施設入所や入院等によるものです。							

## II-2 生きがいをもたらす高齢者福祉

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
生きがいを持っている高齢者の割合	%	×	82.9	76.2	80.4	85.0	高齢課
<p>状況：平成29年度と比較して、4.2ポイント増加しています。目標値との比較では、4.6ポイント、達していません。</p> <p>原因：高齢者の意識が多様化する中、高齢者のニーズに合った生きがいに繋がる十分な選択肢が不足していることが要因と考えられます。</p>							

### 01 高齢者の社会参加の推進

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
社会参加している高齢者の割合	%	△	44.3	37.7	45.1	55.0	高齢課
<p>状況：平成29年度と比較して、7.4ポイント増加しています。目標値との比較では9.9ポイント、達していません。</p> <p>原因：社会参加の意欲はあるものの、活動の場の情報提供が充分でないために、ニーズに対するマッチングが上手く行われていないことが要因と考えられます。</p>							
住みよいと思う市民の割合	%	×	75.4	69.3	68.3	80.0	総合政策課
<p>状況：29年度より1.0ポイント悪化し、目標との差が11.7ポイントになりました。</p> <p>原因：性別では「女性」の数値が、職業別では「学生」「専業主婦・主夫」の数値が、年齢別では「60～64年代」の数値が悪化しています。</p>							

### 02 介護予防対策の充実

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
自立している高齢者の割合	%	×	88.4	85.3	84.1	89.0	高齢課
<p>状況：平成29年度と比較して、1.2ポイント減少しています。</p> <p>原因：団塊の世代が後期高齢者に近づき要介護認定者が増加するとともに、要介護認定を受ける割合が大きく上昇する75歳以上の後期高齢者人口が増加していることが要因と考えられます。</p>							
健康によい生活習慣の平均実践項目数	個	○	5.37	5.43	5.59	6.00	高齢課
<p>状況：平成29年度と比較して、0.16個増加しています。目標値との比較では、0.41個、達していません。</p> <p>原因：高齢者各個人における健康維持及び増進に対する意識の向上により、生活習慣を改善する高齢者が増えた一方、高齢者人口の増加により、健康維持及び増進に対して特に意識していない高齢者も相当数いることが要因と考えられます。</p>							
介護予防教室参加者数	人	×	629	585	571	700	高齢課
<p>状況：平成29年度と比較して、14人減少しています。</p> <p>原因:地域の通いの場等における健康体操が普及したことにより、介護予防教室の参加希望者が減少したことが考えられます。</p>							

03 介護サービス体制の整備

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
介護サービス体制が充実していると思う高齢者の割合	%	×	77.3	77.8	38.3	80.0	高齢課
<p>状況：平成29年度と比較して、39.5ポイント減少しています。</p> <p>原因：介護サービス提供施設数は増加していますが、事業所情報が十分に周知されていないことが要因と考えられます。また、特別養護老人ホームの施設不足が依然として続いていることも一因と考えられます。</p>							
認知症サポーター数	人	◎	1,381	3,177	4,099	2,500	高齢課
<p>状況：平成29年度と比較して、922人増加しています。</p> <p>原因：養成講座の開催回数が増加したこと、及び小中学校等で講座を開催したことが要因と考えられます。</p>							

04 在宅福祉サービスの充実

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
在宅福祉サービスが充実していると思う高齢者の割合	%	×	27.2	24.3	21.7	28.6	高齢課
<p>状況：平成29年度と比較して、2.6ポイント減少しています。</p> <p>原因：既存の在宅福祉サービスと高齢者のニーズが合致していないことが要因と考えられます。また、在宅福祉サービスの周知不足も一因と考えられます。</p>							

## II-3 自立・支援・社会参加の障がい者（児）福祉

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
在宅で生活している障がい者（児）の割合	%	△	97.3	97.1	97.1	98.0	福祉課
<p>状況：平成29年度と同ポイントになっています。</p> <p>原因：平成29年度の施設入所者が55人、平成30年度は56人です。手帳所持者数は平成29年度1,962人、平成30年度は1,971人で、微増です。結果、在宅で生活している障がい者の割合は横ばい状態です。</p>							

### 01 障がい者（児）支援体制の充実

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
健診・相談をきっかけとして要支援とされた人数	人	-	73	51	87	-	福祉課
<p>状況：平成29年度から36人増加しています。</p> <p>原因：平成29年度の受診者402人。平成30年度は445人と43人増加していることが原因と考えられます。</p>							
経過観察・療育等でケアをしている児童数	人	-	5	9	11	-	福祉課
<p>状況：平成29年度から2人増加しています。</p> <p>原因：平成29年度の受診者402人。平成30年度は445人と43人増加していることが原因と考えられます。</p>							
健診・相談で早期発見された児童数	人	-	4	3	3	-	福祉課
<p>状況：平成29年度と同数になっています。</p> <p>原因：市の乳幼児健診の受診者数が平成29年度と平成30年度でほぼ同じな為、紹介状を出された割合や、診断名が付いて結果が戻ってきた割合に差がなかったと考えられます。</p>							

02 自立した生活の支援

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
自立支援給付事業利用者数、障害児通所支援利用者数	人	◎	4,626	5,364	6,182	4,650	福祉課
<p>状況：平成29年度から818人増えています。</p> <p>原因：障害児通所支援サービス利用条件を緩和したことにより、障害児のサービス利用者が増加したことが主な要因です。</p>							
施設入所・入院から在宅生活への延べ移行人数	人	○	4	2	5	6	福祉課
<p>状況：平成29年度より3人増加しています。</p> <p>原因：福祉サービス等の利用により、在宅生活環境が整い、入院から在宅へ移行した人数が増加しました。</p>							

03 地域生活の支援

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
地域生活支援事業利用者数	人	◎	1,033	1,224	1,249	1,050	福祉課
<p>状況：平成29年度から25人増加しています。</p> <p>原因：地域生活支援事業の浸透により、利用者が増加しています。特に相談支援事業及び日常生活用具給付等事業の利用者が増加傾向にあります。</p>							

04 社会参加の促進

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
就労相談・支援により就労した障がい者数	人	◎	0	10	3	3	福祉課
<p>現況：平成29年度と比較して7人減少しています。</p> <p>原因：特別支援学校卒業生の一般企業就職者がいなかったため減少しました。</p>							
障がい者（児）の社会参加事業参加者数	人	◎	475	489	531	500	福祉課
<p>現況：平成29年度と比較して42人増加しています。</p> <p>原因：障害者団体の会員数は減少している状況ですが、研修等の事業参加者が増加しました。</p>							

## II-4 健康・予防・医療体制の充実と健康づくり

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
自身が健康だと思ふ市民の割合	%	△	76.1	77.7	77.4	80.0	健康増進課
<p>状況：基準値と比べて1.3ポイント増加しています。</p> <p>原因：市民自身の健康に対する意識が高まったと考えられます。 アンケート結果：20歳～29歳81.0%、30歳～39歳81.1%、40歳～49歳77.5%、50歳～59歳75.3%、60歳～64歳71.4%、65歳～69歳77.7%、70歳以上71.1%</p>							

### 01 自主的な健康づくりの推進

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
健康によい生活習慣を実践している市民の割合	%	△	81.3	79.2	80.5	85.0	健康増進課
<p>状況：基準値と比べて0.8ポイント減少していますが、平成29年度と比べて1.3ポイント増加しています。</p> <p>原因：アンケート結果でタバコを吸わないに○を付けた方が73.5%と2.9ポイント増加、朝食を毎日とるに○を付けた方が75.9%と高い数値を維持しています。生活習慣改善に関する知識の普及啓発により、禁煙や食生活等に関心を持ち改善に取り組む市民が増えていることが考えられます。</p>							

### 02 保健予防対策の充実

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
がん健診により精密検査が必要とされた市民の精密検査受診率	%	△	79.1	70.3	80.0	85.0	健康増進課
<p>状況：基準値と比べて0.9ポイント増加しています。平成29年度と比べて9.7ポイントと大幅に増加しています。</p> <p>原因：精密検査受診勧奨通知での促しの効果が高まり、特に胃がん精検受診率、子宮がん精検受診率が大幅に増加しています。受診率：胃がん精検受診率77.5%・肺がん精検受診率87.3%・大腸がん精検受診率69.6%・子宮がん精検受診率81.1%・乳がん精検受診率88.0%</p>							
乳幼児健診により精密検査が必要とされた乳幼児の精密検査受診率	%	×	95.0	81.3	77.5	100.0	健康増進課
<p>状況：基準値と比べて17.5%低下しています。年々成果指標が悪化している状況です。</p> <p>原因：精密検査受診率が悪いのは、3歳6か月児健診の精密検査受診率です。（33人中25人受診で75.8%）精密検査を受けていない児が紹介されているのは、耳鼻科や眼科が多い状況です。</p>							

03 地域医療体制の整備

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
かかりつけ医がいる市民の割合	%	△	77.2	75.8	75.7	80.0	健康増進課
<p>状況：基準値と比べて1.5ポイント減少しています。</p> <p>原因：かかりつけ医を持つことの啓発として、広報等での周知は市民へできていると考えますが、患者の疾患や症状により、専門医、専門医療機関を選択する市民もいることが、成果に影響しているものと考えます。</p>							
市内医療機関での救急患者受入人数	人	×	3,667	2,572	2,565	3,800	健康増進課
<p>状況：平成27年度から比較して、年々救急患者数は減少しています。</p> <p>原因：救急医療機関として、平日時間外、深夜、休日診療対応の体制を整えていますが、市外医療機関をかかりつけ医とする市民は、あらかじめ救急時の受診依頼を行っていたり、宇都宮医療圏への救急受診を選択するケースが生じています。</p> <p>・とちぎ救急医療電話相談窓口を活用することで救急受診に至らなかった例や、「塩谷地区お医者さんの適正受診ガイド」での市民への啓発により、かかりつけ医を持ち急な事態に備えることができる市民が増えていることが考えられます。</p>							

## II-5 安心で安全な子育て環境づくり

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
子育て支援のサービスや環境が充実していると思う保護者の割合	%	△	80.1	81.0	81.8	83.0	こども政策課
<p>状況：平成29年度と比べて0.8%増加しています。</p> <p>原因：新たな子育て支援サービスが充実する一方で保育施設においては年度当初より待機児童が発生しているため、目標値まで到達していないものと考えられます。</p>							
出生数（出典：栃木県人口動態統計）	人	×	416	386	334	416	こども政策課
<p>状況：平成29年度に比べて、52人減少しています。</p> <p>原因：出生数は微減傾向です。</p>							
子育てが楽しいと思う保護者の割合	%	◎	93.6	93.8	97.3	94.0	こども政策課
<p>状況：平成29年度に比べ3.5ポイント増加しており、目標値を達成しています。</p> <p>原因：各種子育て支援サービスの充実、周知が計られてきたものと考えられます。</p>							

### 01 未就学児・児童の教育・保育サービスの充実

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
保育所・認定子ども園・地域型保育事業所の待機者数（4月1日現在）	人	×	0	18	16	0	こども政策課
<p>状況：4月1日現在、16名の待機児童が発生しており、平成29年度に比べ2名減少しています。</p> <p>原因：利用申込数は年々増加していますが、各園における受け入れ人数の調整により待機児童数は微減しています。</p>							
学童保育の待機者数（3月31日現在）	人	◎	0	0	0	0	こども政策課
<p>状況：3月31日現在、待機児童は発生していません。</p> <p>原因：学童保育の利用者は増加傾向にありますが、学校プール棟利用等により待機児童を出すことなく対応することができています。</p>							

### 02 子どもの遊び場の確保

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
子どもが放課後等安心して遊ぶ場所があると思う保護者の割合	%	◎	45.0	45.7	50.7	45.0	こども政策課
<p>状況：平成29年度に比べて5.0ポイント増加しており、目標値を達成しています。</p> <p>原因：指定管理、業務委託先の業務習熟が図られたものと考えます。</p>							

03 子育てのための経済支援

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
児童医療費助成登録認定率	%	○	93.0	99.9	98.4	100.0	こども政策課
<p>状況：平成29年度に比べ1.5ポイント減少しています。</p> <p>原因：出生や転入時における手続きを遺漏なく進める為、関係機関と連携する事で目標値達成を目指します。</p>							
経済的負担軽減サービスを受けているひとり親家庭数	世帯	-	373	374	356	-	こども政策課
<p>状況：平成29年度に比べ18名減少しています。</p> <p>原因：ひとり親医療費助成受給資格者数の増減で成果を判断するのではなく、ひとり親家庭が各種制度を理解していることが重要であり、制度の周知に努めています。</p>							
婚姻数	件	×	216	184	180	220	総合政策課
<p>状況：目標を下回っています。</p> <p>原因：結婚支援事業（咲くらコン）については、予定定員に達し、カップル数についても参加者の半数以上となる26組成立したところですが、社会全体の傾向として婚姻件数は減少しており、増加・維持には至りませんでした。</p>							

04 子育て不安の解消

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
子育てについて気軽に相談できる相手がいる保護者の割合	%	◎	98.6	97.0	99.2	98.6	こども政策課
<p>状況：H29年度アンケートに比べ2.2ポイント増加し、目標値を超える数値になっています。</p> <p>原因：子ども子育て包括支援センターや児童センター及び要保護児童対策地域協議会を活用し、引き続き子育てをする家庭が孤立しないよう務めていきます。</p>							
市の子育て相談・情報交換の場を知っている保護者の割合	%	○	53.0	68.0	62.8	70.0	こども政策課
<p>状況：H29年度アンケートに比べ5.2ポイント減少していますが、目標値に近い数値になっています。</p> <p>原因：ホームページの案内や出生や転入時に子育て家庭に対し「子育てガイドブック」を提供しており、さくら市における子育てサービスの情報が周知されたためと考えられます。</p>							

## II-6 生活を支援する社会保障と社会福祉

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
社会福祉（社会保障）の充実に関する市民満足度	%	◎	82.1	85	88.4	85.1	福祉課
<p>状況：29年度比で3.4ポイント増加し平成30年のアンケート結果は88.4%です。</p> <p>原因：国策や社会保障費の動向に市民の意識が寄せられているだけでなく「社会保険」「介護保険」「困窮者支援」などへのニーズと充足率によると思われます。</p>							

### 01 医療保険制度の健全運営

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
国民健康保険税収納率	%	◎	88.3	92.8	94.9	91.0	市民課
<p>状況：平成26年度と比較して、6.6ポイント上昇し計画目標値を超えています。</p> <p>原因：収納対策室において、財産調査を定期的を実施するなど、滞納処分等に適宜対応していることが主な原因と考えられます。</p>							
後期高齢者保険料収納率	%	◎	97.8	99.2	99.6	99.4	市民課
<p>状況：平成26年度と比較して、1.8ポイント上昇し計画目標値を超えています。</p> <p>原因：収納対策室において、財産調査を定期的を実施するなど、滞納処分等に適宜対応していることが主な原因と考えられます。</p>							

### 02 介護保険制度の健全運営

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
介護保険料収納率	%	◎	84.1	89.8	92.2	86.0	高齢課
<p>状況：平成29年度と比較して、2.4ポイント上昇しており、目標値を達成しています。</p> <p>原因：収納対策強化のほか、コンビニ収納等の便利な納付方法が市民に浸透したことによると考えられます。</p>							

03 生活困窮者の支援

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
市民1,000人あたりの生活保護者数	人	-	6.48	7.07	6.72	-	福祉課
<p>状況：29年度比で0.35人減少し平成30年度の実績は6.72人であり、県内平均10.58と比べ低い状態です。</p> <p>原因：困窮から保護受給となる世帯数が例年より減少し、廃止に至る被保護世帯が開始件数を上回ったためです。 生活保護相談件数、平成24年度（282件）平成25年度（177件）平成26年度（132件）平成27年度（88件）平成28年度（130件）平成29年度（98件）平成30年度（80件）</p>							
自立による生活保護廃止件数	件	◎	4	9	7	4	福祉課
<p>状況：平成30年度においては、自立による廃止ケースが7件ありました。</p> <p>原因：継続した就労指導を実施した結果、就労に繋がり稼働収入の増加等により保護廃止に至った27件のうち7件（25.9%）が自立による廃止となりました。</p>							
支援により生活困窮状態が改善された件数	件	○	0	7	8	20	福祉課
<p>状況：29年度は7件、30年度では8件と改善した件数は横ばいです。</p> <p>原因：継続した相談支援及び就労支援により、家計の改善又は就労に繋がり生活困窮状態が改善されました。相談者は抱えている問題が複数あるため、一気に解決することは難しく、長期的な支援が必要です。</p>							

04 安全で快適な公営住宅の供給

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
長寿命対策を実施した公営住宅戸数の割合	%	○	34.6	41.3	43.3	100.0	建設課
<p>状況：長寿命化型改善工事実施予定208戸のうち、平成30年度に実施した4戸を加え90戸実施しました。</p> <p>原因：長寿命化計画に準ずる改修工事としていますが、国庫補助対象外である木造住宅の改修工事については、予算の兼ね合いから順調ではありません。</p>							

## 政策Ⅲ 文化薫る心豊かな人材の育成

### Ⅲ-1 健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
自主的な生涯学習活動に参加している市民の割合	%	◎	30.4	28.4	32.3	32.0	生涯学習課
<p>状況：平成29年度に比べると3.9ポイント増加し、目標を達成しています。</p> <p>原因：生涯学習に関するイベント・講座等の提供により、啓発等が徐々に浸透していることが考えられます。</p>							

#### 01 学ぶ機会の充実

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
生涯学習講座・イベントの参加者数	人	◎	18,291	21,577	22,146	18,500	生涯学習課
<p>状況：平成29年度に比べると569人増加しており、目標値を達成しています。</p> <p>原因：生涯学習を推進するための講座・イベント等の機会の充実が図られたためと考えられます。</p>							
図書館の利用者数	人	◎	147,626	158,397	165,477	150,000	生涯学習課
<p>状況：平成29年度に比べると7,080人増加しており、目標値を達成しています。</p> <p>原因：平成27年度から指定管理者制度を導入したことにより、民間のノウハウを活かした図書館運営が行われているためと考えられます。</p>							
生涯学習の機会や場の満足度	%	◎	78.1	79.4	80	79.0	生涯学習課
<p>状況：平成29年度に比べると0.6ポイント増加しており、目標値を達成しています。</p> <p>原因：生涯学習に関するイベント・講座等の提供が十分に図られているためと考えられます。</p>							

## 02 青少年健全育成体制の強化

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
青少年の健全育成に関心を持っている市民の割合	%	×	63.6	48.2	48.8	65.0	生涯学習課

状況：平成29年度に比べると0.6ポイント増加しましたが、目標値を達成していません。

原因：青少年健全育成に関する事業は、平成29年度同様に行っていますが、目標値に届くまで啓発等が十分に浸透していないためと考えられます。

## 03 家庭教育支援の充実

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
家庭教育支援に関する講座や学級・研修会等の参加者数	人	○	1,484	2,240	1,671	1,750	生涯学習課

状況：平成29年度に比べると569人減少し、目標値を達成していません。

原因：平成29年度と同様の講座等を実施していますが、学校で開催する講座によっては隔年度開催のものがあること等、実施回数の影響によることが原因と考えられます。

### Ⅲ-2 芸術・文化・歴史があふれる市民文化の継承

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
芸術・文化・歴史に関する事業に参加した市民の割合	%	◎	43.7	47.8	50.1	43.7	生涯学習課
<p>状況：平成29年度と比較すると、2.3ポイント上昇し、目標値を達成しました。</p> <p>原因：芸術・文化・歴史に関する事業等の機会の充実が図られたためと考えられます。</p>							

#### 01 芸術文化活動の推進

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
文化事業参加者数	人	×	15,441	4,709	4,473	6,000	生涯学習課
<p>状況：平成29年度と比較すると、236人減少しており、目標値を達成していません。</p> <p>原因：平成28年度でチアフェスティバルが終了し、文化事業参加者数が減少しましたが、平成29年度以降は、有料公演等を継続して実施し、文化事業参加者数は概ね横ばいとなっています。</p>							

#### 02 歴史的文化的資源の保存・継承・利活用

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
指定文化財に親しんだ市民の割合	%	△	30.9	32.0	31.2	31.5	生涯学習課
<p>状況：平成29年度と比較すると、0.8ポイント減少しており、目標値を達成していません。</p> <p>原因：僅かながら減少しましたが、概ね横ばいであり、指定文化財に親しむ機会が図られていると考えられます。</p>							

## 03 博物館の整備・充実

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
来館者数	人	◎	18,032	35,430	53,923	23,000	生涯学習課
<p>状況：29年度と比較すると18,493人の増加がありました。</p> <p>原因：夏休みに開催した「魔法の美術館」では、子供を中心とした家族での来館があり、期間中、30,253人の来館があったことが大きな増加につながりました。</p>							
収蔵資料数	件	◎	5,777	7,302	7,313	6,000	生涯学習課
<p>状況：29年度と比較すると11件増加し、目標値を達成しています。</p> <p>原因：歴史、考古、美術分野と幅広い資料の収集が実現され、地域の博物館として市民への理解が広がっていると考えられます。</p>							
企画展観覧者の満足度	%	◎	92.3	89.2	96.0	93.0	生涯学習課
<p>状況：29年度と比較すると6.8ポイント上昇し、目標値を達成しています。</p> <p>原因：企画展の内容が、家族向けのものから、美術、歴史と、各ジャンルに幅を広げ、多くの来館者の誘致に努めたことが、ポイント上昇につながったものと考えます。</p>							

### Ⅲ-3 確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
学校に行くのが楽しいと思っている児童の割合	%	-	86.7	89.9	-	90.0	学校教育課
平成30年度調査より質問項目から削除されたため、当該指標は取得できませんでした							
学校に行くのが楽しいと思っている生徒の割合	%	-	91.2	84.5	-	95.0	学校教育課
平成30年度調査より質問項目から削除されたため、当該指標は取得できませんでした							

#### 01 確かな学力の育成

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
基礎的な学力が身につけている児童の割合	%	×	94.2	90.9	87.9	95.0	学校教育課
<p>状況：29年度と比較し、3ポイント低下しました。</p> <p>原因：当該年度の学年によって学力にも波があるため、単純に前年度との比較だけでは評価しづらい面がありますが、個別支援教育の実施等により徐々に成果が表れてきています。</p>							
基礎的な学力が身につけている生徒の割合	%	×	71.9	75.9	68.6	75.0	学校教育課
<p>状況：29年度と比較し、7.3ポイント低下しました。</p> <p>原因：当該年度の学年によって学力にも波があるため、単純に前年度との比較だけでは評価しづらい面がありますが、T、Tの実施等により徐々に成果が表れてきています。</p>							
研修や自己研鑽に積極的な教職員の割合	%	×	43.6	31.4	29.6	50.0	学校教育課
<p>状況：29年度と比較し、1.8ポイント低下しました。</p> <p>原因：本指標が教職員の給与に反映されることになったため基準が厳格化され、評定aを取ることが困難になりました。</p>							

## 02 豊かな心と健やかな体の育成

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
不登校者数の割合（小学校）	%	×	0.7	0.8	0.8	0.4	学校教育課
状況：29年度と同じポイントです。  原因：「魅力ある学校づくり調査研究事業」の趣旨を継続し、不登校の未然防止に努力しています。月5日以上欠席の児童生徒の報告を受け、学校と情報共有したり、研修を行うなどの対応をしています。クラスに登校できない生徒に対しては、別室登校の対応のための臨時講師を配置するなどして、不登校解消に取り組んでいます。							
不登校者数の割合（中学校）	%	×	4.2	4.3	5.2	3.6	学校教育課
状況：29年度と比較し0.9ポイント上昇しました。  原因：「魅力ある学校づくり調査研究事業」の趣旨を継続し、不登校の未然防止に努力しています。月5日以上欠席の児童生徒の報告を受け、学校と情報共有したり、研修を行うなどの対応をしています。クラスに登校できない生徒に対しては、別室登校の対応のための臨時講師を配置するなどして、不登校解消に取り組んでいます。							
図書室で借りた図書の冊数（小学校）	冊	◎	33.5	38.1	46.7	36.0	学校教育課
状況：29年度と比較して8.6冊増加し、目標値を達成しています。  原因：図書事務員による図書室の環境整備が進み、児童が良質な図書を借りやすい環境が形成されています。							
図書室で借りた図書の冊数（中学校）	冊	○	6.7	8.2	9.6	10.0	学校教育課
状況：29年度と比較し、1.4冊増加しています。  原因：スマートフォンやタブレットの普及により活字離れが進んでいるため、向上させることが難しくなっていますが、図書事務員による図書室の環境整備を推進し、図書の貸し出しの増加に取り組んでいます。							

## 03 安全・安心な教育環境の実現

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
小中学校校舎・施設の長寿命化改修率	%	○	0.0	0.0	12.5	25.0	学校教育課
<p>状況：平成30年度については、喜連川中学校の大規模改修工事を行いました。</p> <p>原因：喜連川中学校大規模改修工事を実施したことにより指標値が上昇しました。</p>							
施設維持管理上の不備による教育支障件数	件	◎	0	0	0	0	学校教育課
<p>状況：支障件数はありませんでした。</p> <p>原因：施設の不具合等について、学校からの報告・相談を受けた後、即時対応しているため、0件であったと思われます。</p>							
登下校時の児童生徒の事件・事故件数	件	◎	9	9	4	5	学校教育課
<p>状況：前回より5件減少し、目標値を達成しています。</p> <p>原因：登下校時の事件・事故には注意するよう学校で指導していますが、児童・生徒が要因ではない事故に巻き込まれているケースもあり、毎年数件の発生があります。</p>							
学校経営・学習支援などにかかわったボランティアの活動件数	件	-	581	-	-	600	学校教育課
<p>平成27年度調査より質問項目から削除されたため、当該指標は取得できませんでした。</p>							

### Ⅲ-4 充実した生涯スポーツ社会の実現

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
週1回以上スポーツ、レクリエーションをしている市民の割合	%	◎	30.2	27.8	33.2	33.0	スポーツ振興課
<p>状況：平成29年度と比較して5.4ポイント増加し、目標値に到達しております。</p> <p>原因：回答者の生活様式やスポーツへの取り組み方等の変化によりアンケート結果に反映された部分があると考えます。スポーツに取り組む市民の割合を維持または向上させるため、さらなるスポーツの普及啓発を行ってゆくことが重要です。</p>							

#### 01 生涯スポーツ活動の充実

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
各種スポーツ教室・大会の参加者数	千人	○	129	139	143	145	スポーツ振興課
<p>状況：平成29年度と比較して3.2千人増加しています。</p> <p>原因：体育協会各加盟団体における活発な活動により教室参加者数が増加傾向にあります。参加者数増加を図るため、市民ひとりスポーツの目標のもと、さらなる普及啓発が必要です。</p>							

#### 02 スポーツ施設の整備

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
各体育施設の年間利用者数	千人	◎	315	342	370	350	スポーツ振興課
<p>状況：平成29年度と比較し、28千人増加しています。</p> <p>原因：各施設の利用者増に加え、屋外プールの利用者が増加したためです。</p>							

#### 03 スポーツ団体・指導者の育成

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
スポーツ団体数	団体	△	429	427	429	440	スポーツ振興課
<p>状況：平成29年度より2団体増加しましたが、目標値に到達していません。</p> <p>原因：いきいきスポーツ教室認定団体が2団体増加したためです。</p>							
指導者数	人	◎	312	304	374	340	スポーツ振興課
<p>状況：平成29年度より70名増加しており、目標値に到達しております。</p> <p>原因：体育協会各加盟団体における指導者数の増加、およびスポーツ少年団各団体の指導者数を指標値に追加計上したことによるものです。さらなる指導者数の維持向上を図るため、引き続き指導者育成に対する取り組みを継続してゆくことが重要です。</p>							

### Ⅲ-5 市民一人ひとりの人権尊重

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
人権が侵害された市民のうち、相談できた市民の割合	%	△	39.6	43.7	38.4	50.0	福祉課
<p>状況：平成29年度から5.3ポイント減少しています。</p> <p>原因：「この1年間に人権が侵害されたことがある」と回答しているのは9.5ポイントで、平成29年度と比較し0.1ポイント増加しています。しかし、「黙って我慢した」が6.9ポイント増加しており、相談をしないで我慢した市民が増加したことによると推測されます。</p>							

#### 01 人権尊重意識の啓発

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
この一年に人権を侵害する言動をした市民の割合	%	△	8.2	9.3	8.2	7.0	福祉課
<p>状況：平成29年度から1.1ポイント減少しています。</p> <p>原因：アンケートの年齢別内訳によると平成29年度と比較して、20～49歳は各世代で減少していますが、50歳以上では増加しています。若い世代での人権侵害に対する関心が高いために減少したと推測されます。</p>							

#### 02 男女共同参画社会の推進

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
委員会等における女性委員の割合	%	◎	23.3	30.6	31.7	27.0	総合政策課
<p>状況：平成29年度より1.1ポイント増加し、目標値を達成しました。</p> <p>原因：女性委員総数の増加とともに、女性委員のいる委員会数の割合も増加したことが原因と考えられます。</p>							
家庭における男女が平等だと思う市民の割合	%	△	67.5	65.3	66.5	69.0	総合政策課
<p>状況：平成29年度より1.2ポイント増加しましたが、目標値は達成していません。</p> <p>原因：平等だと思う男性の割合が75.0ポイントなのに対し、女性は56.3ポイントという低い数値であることから、女性が男性に家庭のなかで求める役割としての公平感が足りていないことが原因と考えられます。</p>							
自治会等の地域活動の場で男女が平等だと思う市民の割合	%	◎	42.2	51.7	52.2	47.0	総合政策課
<p>状況：平成29年度より0.5ポイント増加し、目標値を達成しております。</p> <p>原因：女性活躍推進法の施行や、推進委員による各種啓発イベント、男女共同参画都市宣言、講座を通じ、概ね半数の市民の方に地域活動における男女共同参画への理解が浸透してきたことが原因と考えます。</p>							
男は仕事、女は家庭という固定的性別役割にとらわれない市民の割合	%	◎	32.7	73.8	74.1	35.0	総合政策課
<p>状況：平成29年度より0.3ポイント増加し、目標値を達成しています。</p> <p>原因：性別、年齢、職業を問わず、全体的に高い傾向にあり、固定的性別役割にとらわれない男女共同参画社会が進んでいます。</p>							

03 子どもの人権尊重

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
子どもの人権確保へのケース管理数	件	-	113	112	129	-	こども政策課
<p>状況：平成29年度に比べ、17件増加しています。</p> <p>原因：啓発活動等により児童虐待防止に対する市民の意識が高くなった結果、児童虐待相談件数や児童虐待通告が増加していると考えられる。また、育児不安等を背景とした、身近な子育て相談のニーズが増加していることも原因と考えられます。</p>							
児童虐待の一時保護・措置件数	件	-	23	3	23	-	こども政策課
<p>状況：平成29年度に比べ、20件増加しています。</p> <p>原因：虐待を受けている児童の一時保護・措置は、児童相談所（県）にて、迅速かつ適切に実施されています。また、啓発活動等により児童虐待防止に対する市民の意識が高くなっており、児童相談所に相談・通報することで一時保護に繋がるケースが増えていると考えられます。</p>							

04 配偶者間の人権尊重

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
配偶者の人権確保へのケース管理数	件	-	10	27	11	-	こども政策課
<p>状況：平成29年度に比べ16件減少しています。</p> <p>原因：DVに関する周知活動等により身近にある相談機関の存在は認知されましたが、配偶者への恐れからか相談に繋がらない傾向です。特に母親の場合「自分が我慢すれば」と抱え込んでしまい、継続的な相談に繋がらないことが多く、相談者の抱える問題を理解し、安心して相談できる体制づくりが必要と考えられます。</p>							
配偶者からの暴力相談者の一時保護・措置件数	件	-	1	3	3	-	こども政策課
<p>状況：平成29年度と同じ3件ですが、基準年からは増加しています。</p> <p>原因：DVに関する周知活動等により、市が身近に相談できる機関として認知されたことで、早期の相談支援につながっていると考えられます。</p>							

05 高齢者の人権尊重

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
高齢者の人権確保へのケース管理数	件	-	64	18	23	-	高齢課
<p>状況：平成29年度と比較して、5件増加しています。</p> <p>原因：高齢者に関する相談については、内容が多様化してきており、相談件数の増加に繋がったものと考えられます。</p>							
高齢者の一時保護・措置件数	件	-	3	1	1	-	高齢課
<p>状況：平成29年度と横ばいとなっています。</p> <p>原因：高齢者虐待について継続して広報活動を行ったことにより、民生委員や市民の虐待に対する知識が高まり理解が浸透してきたと考えられます。地域全体が虐待事案に気づき、通報を行うことで、迅速な支援対応に繋がっています。</p>							

## 政策Ⅳ 時代とニーズに合致した農林漁業の確立

### Ⅳ-1 時代とニーズに合致した農林漁業の確立

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
農林水産業総生産額（出典：栃木県市町村民経済生産）	百万円	◎	6,646 (H24)	5,859	6,685	6,646	農政課
<p>状況：平成29（27）年度と比較して、826百万円増加しています。</p> <p>原因：米及び野菜の産出額が前年度より増加したためです。</p>							

#### 01 付加価値の高い農林水産業の確立

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
6次産業化実践者数	名・団体	◎	6	7	15	8	農政課
<p>状況：平成29年度から8団体増加しています。</p> <p>原因：所得の向上や地域活性化に向けて、意欲的に6次産業化に取り組む農業者等が増えたためです。</p>							
産地化・ブランド化した農林水産物・製品数	品	○	1	1	2	3	農政課
<p>状況：平成29年度から1品増加しています。</p> <p>原因：平成30年度に新たな申請があり、ブランドとして認証されたためです。</p>							

## 02 持続可能な農林水産業構造の構築

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
耕作放棄地面積	ha	◎	46	29	28	46	農政課
<p>状況：平成29年度から1ha減少しています。</p> <p>原因：耕作放棄地対策として実施された耕作放棄地解消事業実施の影響によるものと思われます。</p>							
認定農業者数	名	×	370	343	340	388	農政課
<p>状況：平成29年度から3名減っています。</p> <p>原因：新規申請者がいる一方、高齢化等により農業を辞め認定農業者から抜ける人が増えていることが原因と思われます。</p>							
新規就農者数	人	◎	5	13	12	10	農政課
<p>状況：平成29年度より1名減少しています。</p> <p>原因：ほぼ横ばいであることから、新規就農者に対する支援体制が確立されていると思われます。</p>							
生産性向上への農地集約または集積化が成された面積	ha	◎	49	139	175	52	農政課
<p>状況：平成29年度より36.4ha増加しています。</p> <p>原因：昨年度より増加面積は減っておりますが、着実に農地の集積化は図られていると思われます。</p>							

## 03 地産地消等による農林水産業への理解推進

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
直売所及び加工センター総販売額	百万 円	◎	909	1,135	1,122	1,054	農政課
<p>状況：平成29年度より13百万円減少しているものの、目標値を達成しています。</p> <p>原因：減少しているものの、目標値を達成していることから一定の水準は保てていると思われます。</p>							
学校給食における地元食材活用額	千円	◎	1,785	2,693	3,243	1,785	農政課
<p>状況：平成29年度より550千円増加しました。</p> <p>原因：学校給食における地元食材活用の意識がさらに高まっているとともに、需給のマッチングが円滑に行われているためと思われます。</p>							

## IV-2 安定と発展の商工業基盤の充実と強化

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
商業生産額（出典：栃木県市町村民経済生産）	百万 円	△	(10,089) 10,900 (H24)	(10,137) 10,103 (H27)	10,205 (H28)	12,000	商工観光課
<p>状況：調査方法の見直しあり。（ ）の数値。平成29年度より68百万円の増加でした。</p> <p>原因：緩やかな景気回復傾向にあるためか、若干の増加となりました。</p>							
工業生産額（出典：栃木県市町村民経済生産）	百万 円	◎	(62,126) 53,002 (H24)	(69,209) 69,374 (H27)	68,863 (H28)	57,600	商工観光課
<p>状況：調査方法の見直しあり。（ ）の数値。平成29年度より346百万円の減少でした。</p> <p>原因：前年度と比較するとやや減少となったが、10年前と比較すると大きく増加しており、おおむね順調に推移していると思われます。</p>							

### 01 商業の活性化

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
日用品等を買う場所が近所になくて困っている市民の割合	%	△	19.9	20.5	20.3	15.0	商工観光課
<p>状況：平成29年度より0.2ポイント減少しています。</p> <p>原因：中心市街地の空洞化及び少子高齢化が進行しておりますが、幹線道路や郊外へのドラッグストア・コンビニエンスストアの進出が見られることから改善につながったと考えられます。</p>							
商業の事業所数（出典：経済センサス、商業統計調査）	件	-	334 (H24)	326 (H28)	-	334	商工観光課
<p>状況：調査が実施されていないため値は不明です。</p> <p>原因：状況は不明ですが、中心市街地の空洞化・商店主の高齢化等により減少傾向であると思われます。</p>							

### 02 工業の振興

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
工業の事業所数（出典：工業統計調査）	件	-	108 (H25)	105	104	115	商工観光課
<p>状況：工業の事業所数は、平成29年度より1件減少しましたが、ほぼ横ばいとなっています。</p> <p>原因：製造品出荷額、有効求人倍率は増加傾向にあることから、既存施設での増産が可能であったこと、また、製造業が新規立地する上で条件に見合う用地が本市には存在しなかったと考えられます。</p>							
新規または増設した工場の数（工場誘致条例に基づく補助企業数）	件	×	7 (H22～H26累計)	0	1	10 (5年間累計)	商工観光課
<p>状況：4年ぶりに1社対象企業として認定されました。</p> <p>原因：設備投資が増加傾向にあることや、企業誘致アドバイザーの活動が効果を上げているものと思われます。</p>							

03 中小企業の経営基盤の強化支援

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
商工会の会員企業数	件	×	1,017	998	963	1,017	商工観光課
<p>状況：平成29年度より企業数が減少しました。</p> <p>原因：商店街の衰退、店主の高齢化等により閉店する商店が増加していると思われます。</p>							

04 まちなかのにぎわい創出

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
氏家駅周辺に賑わいがあると思う市民の割合	%	○	14.3	11.1	15.2	16.5	商工観光課
<p>状況：平成29年度より4.1ポイント増加しています。</p> <p>原因：さくらテラスが完成し、展示・イベントなど実施により賑わいの効果があったと思われます。</p>							
喜連川支所周辺に賑わいがあると思う市民の割合	%	×	7.0	5.9	5.2	8.0	商工観光課
<p>状況：平成29年度より0.7ポイント減少しています。</p> <p>原因：和い話し広場での観光案内、街の駅本陣、笹屋別邸でのワークショップの他、各種お祭り等のイベントにより賑わいをある程度維持していますが、震災においてお丸山公園の一部施設が被災し、そのあとの利活用が進んでいないことが要因と思われます。</p>							

05 雇用環境の充実

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
就業者数（個人市民税の納税者数）	人	○	18,248	19,027	19,303	19,500	商工観光課
<p>状況：平成29年度より276人増加しています。</p> <p>原因：さくら市への転入者は横ばいであるが、定年後も再雇用等で働いている高齢者が増加したのではないかと考えられます。</p>							
新規創業者数※累計	人	◎	—	10	13	10 (累計)	商工観光課
<p>状況：平成29年度より3人増加し、累計13人となりました。</p> <p>原因：国において認定された創業支援事業が開始され、両商工会、市及び栃木県産業振興センターが連携し、相談窓口設置等による支援体制の整備が図られたことによると思われます。</p>							

### IV-3 地域資源を活かした観光の振興

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
観光客入込数	人	◎	700,428	1,257,772	1,895,294	1,000,000	商工観光課
<p>状況：平成29年度と比較して、637,522人増えています。</p> <p>原因：道の駅きつれがわのリニューアル効果が継続していることが大きな要因となっています。また、5月にさくらテラスが新設され、新規開催のイベントが増えたことも要因の一つに挙げられます。</p>							
観光客宿泊数	人	◎	60,743	100,663	110,483	80,000	商工観光課
<p>状況：平成29年度と比較して9,820人増えています。</p> <p>原因：冬季の降雪が少なかったためゴルフ場の宿泊者が増えたことが大きな要因となっています。</p>							

#### 01 観光PRの充実

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
観光協会ホームページアクセス件数	人	○	51,000	93,063	98,763	100,000	商工観光課
<p>状況：平成29年度と比較して、5,700人増加しました。</p> <p>原因：平成30年度はD C 期間であったため、閲覧回数が増えたものと考えられます。</p>							
マスコミへの露出件数（マスコミ等の取材による露出件数）	人	○	87	113	94	150	商工観光課
<p>状況：平成29年度より19件減少しています。</p> <p>原因：平成29年度は道の駅きつれがわがリニューアルオープンしたことで一時的に露出が増えたため、平成30年度は減少したと考えられます。</p>							
ホームページのアクセス件数（市HP・移住促進HP）	件	○	671,491	667,794	705,566	740,000	総合政策課
<p>状況：平成29年度から5.6%増加しましたが、目標値には達せませんでした。</p> <p>原因：8月に起こった記録的短時間大雨を契機に、市民の防災意識の高まりによる閲覧増が原因と考えられます。引き続き自治体サービスの情報発信の他、市内イベントの情報発信やコンテンツの充実を図ります。</p>							

02 観光資源の充実と創出

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
観光資源のリニューアル件数	件	△	1	1	1	2	商工観光課
<p>状況：平成30年度においては1件のリニューアルがありました。</p> <p>原因：市の直営ではありませんが温泉手形のパンフレットについて、道の駅のリニューアルや施設内容等リニューアルしました。</p>							
新たな観光資源数	件	○	-	4	10	15 (5年間累計)	商工観光課
<p>状況：平成30年度において、6件の新たな観光資源が創出されました。</p> <p>原因：平成30年5月に氏家駅前にさくら市の魅力情報を発信するため拠点施設（さくらテラス）を整備しました。それに伴い、駅前で秋まつり、冬まつりのイベントを実施しました。また、今後道の駅等での販売やさくら市PRにおいて必要性から、さくら市の特産品として「さくらブランド」を4種類認証しました。また、平成30年度より観光やなが本稼働し、DC事業として鮎まつりを実施しました。</p>							

03 観光施設の維持管理

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
観光施設の不具合・トラブルによる不稼働日数	日	◎	50	9	0	40	商工観光課
<p>状況：平成29年度と比較して9日間の減少となりました。</p> <p>原因：施設の老朽化による計画的な更新工事による休業以外はありませんでした。</p>							

## 政策Ⅴ 機能的で住みやすい安全な都市機能

### V-1 安全で快適な交通環境の充実

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
公共交通（鉄道・バス・乗合タクシー）に満足している市民の割合	%	×	60.4	57.2	57.7	70.0	総合政策課
<p>状況：指標の数値が0.5ポイント増加し、目標との差が12.3ポイントになりました。</p> <p>種類別では、「鉄道」、「乗合タクシー」は向上しましたが「バス」は34.3%に悪化しました。</p> <p>地区別では、「喜連川地区」では「鉄道」「バス」が悪化し「乗合タクシー」が向上、「氏家地区」は「バス」が悪化し、「鉄道」、「乗合タクシー」は向上しました。</p> <p>原因：「喜連川地区」の市民が「氏家地区」に来る移動手段が少ないことや、「氏家地区」内を結ぶ路線がないことなどが考えられます。</p>							
道路整備に満足している市民の割合	%	◎	72.1	78.0	76.3	75.0	建設課
<p>状況：基準値を4.2ポイント上回り、目標を達成しています。</p> <p>原因：計画的に市道の整備を実施してきたことにより、市内の道路ネットワークが構築され、円滑な移動に寄与していると考えられます。</p>							

#### 01 公共交通機関の確保

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
買い物・通院等に交通手段がなく困っている市民の割合	%	△	13.0	13.9	13.4	10.0	総合政策課
<p>状況：指標の数値が29年度より0.5ポイント向上し、28年度の数値と同じポイントになりました。目標との差は3.4ポイントになりました。</p> <p>年齢別では「60～64歳」「65～69歳」、居住年数別では「5年以内」が特に悪化しています。</p> <p>原因：高齢者の交通手段が限られていて、買い物・通院等を頼める家族がいない世帯の満足度が高まらないことが原因と考えられます。</p>							
通勤・通学に困っている、不便だと思う市民の割合	%	△	25.9	27.0	26.5	25.0	総合政策課
<p>状況：指標の数値が29年度より0.5ポイント向上し、目標との差が1.5ポイントになりました。</p> <p>年齢別では「40～49歳」「50～59歳」、家族構成別では「3世代」、居住年数別では「11～20年」「21～30年」の数値が特に悪化しています。</p> <p>原因：学生がいる世帯の通学の手段が少ないことが原因と考えられます。</p>							

02 安全で快適な道路の整備

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
市道改良率	%	○	83.7	84.2	84.4	84.7	建設課
<p>状況：計画どおり改良が進んでいます。</p> <p>原因：道路改良工事を継続的に実施していることに加えて、計画どおりに改良できるよう道路用地の先行取得に努めてきたことが要因と思われます。</p>							
歩行者自転車通行帯の整備済み延長	m	○	52,876	57,195	57,861	60,000	建設課
<p>状況：整備は進んでいるものの、目標の達成には更なる整備が必要です。</p> <p>原因：通学路安全点検結果に基づいて整備を進めてきましたが、道路の拡幅整備が必要な路線があり、整備期間が長期化しているためです。</p>							

03 道路・橋梁の長寿命化と維持管理

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
市が道路管理者として責任を負った事故件数	件	◎	2	2	0	0	建設課
<p>状況：平成30年度は道路管理瑕疵による事故は発生しなかったため、目標を達成しています。</p> <p>原因：道路維持管理業務により、市民から通報のあった損傷個所やパトロールによって発見した破損個所について、早期補修に取り組んできた成果によるものと思われます。</p>							
長寿命化対策として舗装補修を実施した道路延長（累積）	m	○	0	1,460	1,650	10,000	建設課
<p>状況：舗装長寿命化修繕計画に基づき整備を進めていますが、進捗は遅れています。</p> <p>原因：舗装補修予算が不足しているためです。</p>							

## V-2 魅力ある良好な市域の形成

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
良好な住生活環境のための計画的な土地利用ができてい ると感じる市民の割合	%	○	49.7	49.0	52.3	55.0	都市整備課
<p>状況：平成26年度から2.6ポイント増しており、目標値との差が2.7ポイントになりました。</p> <p>原因：土地利用計画に基づき適正な土地利用がなされている結果と思われます。</p>							

### 01 良好な街並み・景観の形成

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
まちなみの景観が良好だと思う市民の割合	%	◎	78.5	83.5	83.8	80.0	都市整備課
<p>状況：平成26年度から5.3ポイント増加し、目標値を達成しています。</p> <p>原因：市民の景観に対する意識の向上が原因と思われます。</p>							
土地利用調整基本計画に適合しない開発件数	件	◎	0	0	0	0	総合政策課
<p>状況：0件で推移し、目標値を達成しています。</p> <p>原因：適正な土地利用がなされるよう協議したことが原因と思われます。</p>							

## 02 定住・転入の促進

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
転入超過数	人	×	3	110	-63	24	都市整備課
<p>状況：転入者は平成29年度と比較し47人減少しています。</p> <p>原因：近隣市町の定住人口の増加を目指す施策の違いによるものと思われます。</p>							
住宅建築棟数	棟	◎	303	316	321	1,380 (5年間累計)	都市整備課
<p>状況：平成29年度から5棟増加(累計1,473棟)。目標値を達成しています。</p> <p>原因：立地条件に恵まれた宅地分譲地の購入者と建替えの増加が原因と思われます。</p>							
民間開発による供給区画数（新規に1,000㎡以上の宅地開発をされた分譲区画数）	区画	◎	33	15	44	180 (5年間累計)	都市整備課
<p>状況：平成29年度から29区画増加しています(累計225区画)。目標値を達成しています。</p> <p>原因：立地条件に恵まれた大野地区の宅地分譲が増加したことが原因と思われます。</p>							

## 03 みどりの憩い空間の形成

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
公園・街路樹等が適正に管理されていると思う市民の割合	%	◎	79.8	85.4	85.4	80.0	都市整備課
<p>状況：目標値を達成しています。</p> <p>原因：日常の草刈などの維持管理及び、定期的な施設の点検・補修を実施した結果と思われます。</p>							
市が公園管理者として責任を負った事故件数	件	×	0	1	2	0	都市整備課
<p>状況：事故が2件発生しました。</p> <p>原因：荒川桜づつみ及びこもれび公園それぞれで、乗用芝刈機からの飛石により、窓ガラスを破損してしまいました。</p>							

### V-3 暮らしの安全・安心な社会の構築

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
交通事故発生件数	件	×	112	135	106	85	生活環境課
<p>状況：29年度と比べ29件減少しました。</p> <p>原因：交通事故抑止広報活動の成果が出ているものと思われます。</p>							
全刑法犯数	件	○	348	235	231	230	生活環境課
<p>状況：29年度と比べ4件減少しました。</p> <p>原因：各種防犯活動の成果が出ていると思われます。</p>							

#### 01 交通安全意識の向上

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
交通ルールを順守している市民の割合	%	◎	93.7	94.2	95.1	95.0	生活環境課
<p>状況：29年度と比べ0.9ポイント増加しました。</p> <p>原因：ほぼ目標値を達成しており、アンケートによる誤差の範囲であると思われます。</p>							

#### 02 交通安全対策の推進

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
交通安全施設整備対応率（カーブミラー・信号・ガードレール・道路照明）	%	×	83.3	100.0	77.7	85.0	生活環境課
<p>状況：30年度内で設置要望を受けたカーブミラーのうち、工事完了まで至らなかったものがあつたため減少となりました。</p> <p>原因：設置要望には積極的に取組み、カーブミラー14箇所（総務課対応）を設置しました。</p>							

## 03 防犯意識の向上

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
自主防犯団体数	団体	◎	30	30	30	30	生活環境課
<p>状況：29年度からの団体の増加はありませんでしたが、目標値は達成しております。</p> <p>原因：市民の防犯意識の向上により各団体の活動が活発化しているものと思われます。</p>							

## 04 防犯対策の推進

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
防犯灯設置数	基	○	2,931	3,204	3,240	3,300	生活環境課
<p>状況：新規防犯灯の設置が進み36基増えました。</p> <p>原因：設置条件を満たしている要望には100%対応できました。</p>							

## 05 消費者行政の充実

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
この一年間に消費生活関係のトラブルにあった市民の割合	%	△	4.0	6.0	5.2	2.0	生活環境課
<p>状況：H29年度より0.8ポイント減少しており、目標値との差が3.2ポイントとなっています。</p> <p>原因：広報啓発活動の結果や、市民の知識量の増加により未然に防止できたことが原因であると思われます。</p>							
クーリングオフ制度を知っている市民の割合	%	○	83.3	87.1	87.5	88.3	生活環境課
<p>状況：平成29年度より0.4ポイント増加しており、目標値との差が0.8ポイントになっています。</p> <p>原因：広報誌や回覧文書、イベントでの啓発活動等により微増となりました。</p>							

#### V-4 いのちと暮らしを守る災害に強いまちづくり

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
災害被害戸数	戸	◎	36	1	0	36	総務課
<p>状況：H29年度と比べ1件減少しています。</p> <p>原因：住宅に被害を及ぼすような災害が少なかったことが原因と思われます。</p>							

##### 01 市民の防災意識の向上

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
防災対策平均実践項目数	個	○	3.86	3.81	3.92	4.00	総務課
<p>状況：H29年度と比べやや上昇しております。</p> <p>原因：各地で災害が発生したことにより家庭における備えについて意識が高まったと思われます。</p>							

##### 02 地域防災力の強化

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
規約に基づいた自主防災組織の結成数	団体	○	6	15	24	30	総務課
<p>状況：H29年度と比べ9団体増加しました。目標達成に近づいています。</p> <p>原因：平成30年中、自主防災組織設立に向けた地元説明会へ参加したことが増加につながったと思われます。</p>							
防災訓練等に参加した防災士の延べ人数	人	×	40	38	25	60	総務課
<p>状況：H29年度と比べ減少しております。</p> <p>原因：H30は市総合防災訓練の会場が喜連川地区で、喜連川地区の防災士が少ないために参加人数が減少したと思われます。また、H30は防災士向けのフォローアップ研修を実施しませんでした。</p>							
地域協議会の数（累計）	地区	△	0	0	0	3 (5年間累計)	総合政策課
<p>状況：地域協議会の数は増加しませんでした。</p> <p>原因：地域協議会の設立に向けて、モデル地区での地域住民との意見交換、ワークショップ、住民交流イベント、先進地等の実施や、また住民アンケートを行いその結果に基づく「地域カルテ」の作成等を通して、地域住民の意識醸成を行っている段階です。宇都宮大学との連携により、支援を進めていきます。</p>							

## 03 行政による防災体制の整備

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
自主参集しなければならない災害規模を正しく理解している市職員の割合	%	○	80.2	84.7	84.5	90.0	総務課
<p>状況：H29年度と比べほぼ横ばいです。</p> <p>原因：毎年実施する市総合防災訓練の参加に加え、地域防災計画の修正に伴う各課での計画見直しが数値を維持したものとされます。</p>							
災害時の情報伝達手段の機能不全件数	件	◎	0	0	0	0	総務課
<p>状況：H29年度と同様で、目標値を達成しております。</p> <p>原因：日頃からの各情報機器の保守点検を実施している成果とされます。</p>							

## 04 雨水・浸水対策の整備

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
道路冠水箇所数	箇所	×	0	0	16	0	建設課
<p>状況：H29年度に比べ16件増加しています。</p> <p>原因：8/10に発生したゲリラ豪雨は、記録的短時間大雨118mm/hを記録しました。このため、アンダーパスや低い道路で冠水が発生したものとされます。</p>							
建物浸水箇所数（床下以上）	箇所	×	0	0	38	0	建設課
<p>状況：H29年度に比べ大幅に増加しました。</p> <p>原因：8/10に発生したゲリラ豪雨は、記録的短時間大雨118mm/hを記録しました。市内各所において排水機能が麻痺し、建物浸水が発生したものとされます。</p>							

## V-5 安全でおいしい水道水の安定供給

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
水道普及率	%	○	90.3	91.1	91.9	94.0	水道課
<p>状況：平成29年度と比較して、0.8ポイント増加し、順調に増加しています。</p> <p>原因：平成29年度より給水人口が248人増加しました。平成26年度から実施している水道未普及地域解消事業により氏家北東部及び氏家南東部地区の整備区域が拡大したことや水道整備済み区域内の新規住宅建設などにより、普及率は増加しています。</p>							
水道に対する満足度	%	○	90.6	94.0	94.8	95.0	水道課
<p>状況：平成29年度と比較して、0.8ポイント増加しています。</p> <p>原因：水質異常など発生せず、安心安全な水道水が安定供給できているため満足度が増加しています。</p>							

### 01 水道施設の維持管理・更新

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
有収率	%	×	80.0	75.6	74.6	86.0	水道課
<p>状況：平成29年度と比較して、1.0ポイント減少しています。</p> <p>原因：水道未普及地域解消事業により新設配水管の布設工事を重点的に実施していることから、管内の洗浄水を多量に使用しています。また、末端となる配水管が多く存在し、排水作業を実施して水質保持を行っているために、有収水量が低下しています。</p>							
石綿管の残存延長	m	○	25,254	22,960	22,355	16,254	水道課
<p>状況：平成29年度と比較して、605m減少しましたが、まだ多くの石綿管が布設されています。</p> <p>原因：老朽管の布設工事や下水道に伴う配水管移設工事により、石綿管の延長は着実に減少しています。現在は、水道未普及地域解消事業を優先的に行っているため石綿管から耐震管への取替工事は小規模なものとなり、大幅な減少まではできていない状況です。</p>							

## 02 水道未普及地域の解消

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
未普及地域における配水管整備率（計画延長に対する整備延長割合）	%	○	13.5	54.1	71.5	95.0	水道課

状況：平成29年度と比較して、17.4ポイント増加し順調に増加しています。

原因：水道未普及地域解消事業に対して一般会計からの出資金を受入れ、重点的に新設配水管の布設工事を大規模に実施し整備率が延びています。

## 03 水道事業の安定経営

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
経常収支比率	%	△	112.6	110.5	111.1	115.0	水道課

状況：平成29年度と比較して0.6ポイント増加しました。高い水準の推移となっています。

原因：給水収益は増加しています。しかしながら減価償却費の増加と老朽化した施設の修繕費が増加しています。

## V-6 良好な水資源を保全する下水道の整備

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
水洗化率（氏家地区）	%	◎	83.4	92.5	93.8	86.8	下水道課
<p>状況：平成29年度と比較し1.3ポイント増加しました。</p> <p>原因：新規住宅着工における下水道接続の増加が主な要因。また管渠工事の際の戸別訪問説明や広報誌によるPRも効果をあげていると思われます。</p>							
水洗化率（喜連川地区）	%	○	64.7	67.0	69.5	70.6	下水道課
<p>状況：平成29年度と比較し2.5ポイント増加しました。</p> <p>原因：下水道接続の増加が主な要因。また管渠工事の際の戸別訪問説明や広報誌によるPRも効果をあげていると思われます。</p>							

### 01 下水道の整備

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
下水道整備済区域内人口（氏家地区）	人	○	18,463	18,902	19,000	21,229	下水道課
<p>状況：平成29年度より98人増加しました。</p> <p>原因：管渠築造工事による供用開始面積の増加や新築住宅建築による新規下水道接続件数の増加のためと考えられます。</p>							
下水道整備済区域内人口（喜連川地区）	人	◎	2,646	2,778	2,708	2,650	下水道課
<p>状況：平成29年度より70人減少しました。</p> <p>原因：既整備区域内人口の減少のためと考えられます。</p>							
下水道普及率（氏家地区）	%	△	55.0	55.8	55.8	62.2	下水道課
<p>状況：平成29年度と比較し増減はありませんでした。</p> <p>原因：住民基本台帳人口、処理区域内人口ともに増加数がほぼ同割合であったことによるものです。</p>							
下水道普及率（喜連川地区）	%	◎	24.6	26.9	26.9	25.2	下水道課
<p>状況：平成29年度と比較し増減はありませんでした。</p> <p>原因：住民基本台帳人口、処理区域内人口ともに増加数がほぼ同割合であったことによるものです。</p>							

## 02 施設の維持管理

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
機能不全件数（氏家地区）	日	◎	0	0	0	0	下水道課
状況：機能不全は発生していません。 原因：適切な維持管理・更新・修繕を実施しているためです。							
機能不全件数（喜連川地区）	日	◎	0	0	0	0	下水道課
状況：機能不全は発生していません。 原因：適切な維持管理・更新・修繕を実施しているためです。							

## 03 下水道事業の安定経営

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
経常収支比率	%	◎	100.0	202.8	191.4	100.0	下水道課
状況：目標値を達成しています。 原因：平成29年度より低下した原因については打切決算により営業収益が前年度より減少したためです。							

## 政策VI 次代に引き継ぐ豊かな自然と環境

### VI-1 次世代に継承する自然環境の保全

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
市が自然環境に恵まれていると思う市民の割合	%	○	90.1	94.3	93.7	95.0	生活環境課
<p>状況：基準年と比較して3.6ポイント増加しています。</p> <p>原因：自然観察会や自然環境研修会などを通して、市民が自然環境と触れ合う機会が増えた結果と思われます。</p>							
地球温暖化対策等に効果的な行動の平均実践項目数	個	△	4.00	3.97	3.98	5.00	生活環境課
<p>状況：基準年と比較して、0.02個減少しています。</p> <p>原因：東日本大震災直後の徹底した省エネ活動時より時間が経過し、取組が薄れてきている可能性があります。</p>							

#### 01 環境保全活動の推進

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
環境保全活動に参加している市民の割合	%	◎	1.6	2.2	2.2	2.0	生活環境課
<p>状況：基準年と比較して、0.6ポイント増加し、目標値を達成しています。</p> <p>原因：市内一斉清掃などの取り組みにより、地域等での環境保全活動が活発化している可能性があります。</p>							
ISO14001などを取得している市内事業所数	件	◎	7	8	10	8	生活環境課
<p>状況：基準年と比較して、3件増加し、目標値を達成しています。</p> <p>原因：市内事業所において、環境保全活動に取り組み、効果が出ている結果と思われます。</p>							

## 02 CO2抑制と再生可能エネルギーの推進

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
太陽光やヒートポンプなどの新エネルギーを導入している市民の割合	%	◎	14.9	16.9	20.6	16.0	生活環境課
<p>状況：基準年と比較して、5.7ポイント増加し、目標値を達成しています。</p> <p>原因：太陽光発電システムにおいては、固定価格買取制度により普及が進んでいます。市においても太陽光発電システムやペレットストーブの導入に関して、補助金を交付するなど、再生可能エネルギーの導入を推進しています。</p>							
省エネルギーに取り組んでいる市民の割合	%	○	89.6	89.9	90.7	95.0	生活環境課
<p>状況：基準年と比較して、1.1ポイント増加しています。</p> <p>原因：省エネ行動に対する理解が深まった結果と思われます。</p>							
市域での年間電力使用量	Gwh	-	360	-	-	339	生活環境課
<p>状況：30年度の指標は把握できません。</p> <p>原因：30年度の電力使用量データが把握できないことによります。</p>							

## 03 緑地の保全・育成

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
森林の整備面積	ha	×	70	50	12	77	農政課
<p>状況：平成29年度より38ポイント減少しました。</p> <p>原因：林業事業者の施業において、下刈・間伐・造林の実施減及び元気な森づくり県民税事業の奥山林整備事業が平成29年度で終了となったことによるものです。</p>							

## VI-2 5 Rによる循環型社会の実現

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
家庭系・事業系ごみの排出量	t	×	10,653	10,962	11,053	10,440	生活環境課
<p>状況：平成29年度と比較して、91 t の増加です。</p> <p>原因：平成29年度と比較し、事業系可燃ごみが約9 t 減少しましたが、家庭系可燃ごみが約99 t 増加したためです。</p>							

### 01 廃棄物抑制の推進

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
1日1人当りの家庭系可燃ごみ排出量	g	×	481	497	504	439	生活環境課
<p>状況：平成29年度と比較して、7gの増加です。</p> <p>原因：平成29年度と比較し、家庭系可燃ごみが約99 t 増加したためです。</p>							
事業系可燃ごみの排出量	t	△	2,927	2,946	2,937	2,868	生活環境課
<p>状況：平成29年度と比較して、9 t の減少です。</p> <p>原因：平成29年度と比較し、許可業者への委託分については、約45 t 増加しましたが、事業所の直接搬入分について、約53 t 減少したためです。</p>							

### 02 不法投棄等の不適正処理の抑制

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
不適正処理事案発見件数（不法投棄・野焼き）	件	×	50	103	97	46	生活環境課
<p>状況：平成29年度と比較して、6件の減少です。</p> <p>原因：行為者への指導や広報紙、HPによる意識啓発によります。</p>							

## 03 リサイクル活動の推進

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
家庭系資源物回収量	t	×	1,156	907	855	1,185	生活環境課
<p>状況：平成29年度と比較して、52 t の減少です。</p> <p>原因：主に古紙類・ペットボトルについて、市内スーパー等に設置されている資源物回収ボックス等に排出されているものと推察されます。</p>							
資源化率	%	×	13.2	10.1	9.4	14.0	生活環境課
<p>状況：平成29年度と比較して、0.7ポイントの減少です。</p> <p>原因：主に古紙類・ペットボトルについて、市内スーパー等に設置されている資源物回収ボックス等に排出されているものと推察されます。</p>							

## 04 ごみの収集・処理体制の適正化

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
市民1人当りのごみ収集処理コスト	円	○	7,057	5,185	5,307	5,129	生活環境課
<p>状況：平成29年度と比較して、122円の増加です。</p> <p>原因：歳入については、平成29年度と比較して、ごみ処理手数料が886,000円増加したが、古紙回収等売上金が1,381,801円減少したことが影響し、歳入全体で454,533円減少しました。歳出については、ごみ処理券の購入費用が1,370,013円増加、ごみの総排出量が平成29年度と比較して91 t 増加し、それに伴い塩谷広域行政組合負担金が3,086,000円増加したことが影響し、歳出全体として、4,395,325円増加した。歳入減、歳出増によりごみ収集コストが増加しました。</p>							
ごみ収集に関する不具合・事故件数	件	×	13	25	22	10	生活環境課
<p>状況：平成29年度と比較して、3件の減少です。</p> <p>原因：分別の仕方などが周知された結果によるものと推察されます。</p>							

## 05 リユース（再使用）活動の促進

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
再利用品・中古品を利用している市民の割合	%	△	45.5	47.4	44.7	46.0	生活環境課
<p>状況：基準値比0.8ポイントの減少です。</p> <p>原因：再使用に取り組む市民が増加したものと推察されます。</p>							

### VI- 3 ルールとモラルにもとづく生活衛生環境の向上

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
清潔で衛生的な生活環境だと思う市民の割合	%	○	81.8	82.3	83.1	85.0	生活環境課
<p>状況：基準値比1.3ポイントの増加です。</p> <p>原因：市民が望む生活環境に近づいているためと推察されます。</p>							

#### 01 公害防止対策の推進

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
環境基準達成率（水質）	%	△	85.5	83.0	87.3	91.0	生活環境課
<p>状況：基準年と比較して、水質の環境基準達成率が1.8ポイント増加していますが、目標値は達成していません。</p> <p>原因：農業用水路における渇水期の水量が減少した状況において、水質が不安定となった可能性があります。</p>							
環境基準達成率（大気）	%	◎	100.0	100.0	100.0	100.0	生活環境課
<p>状況：大気に関する環境基準を達成しています。</p> <p>原因：公害予防に関する啓発活動等により環境基準が保たれています。</p>							
環境基準達成率（騒音）	%	◎	100.0	100.0	100.0	100.0	生活環境課
<p>状況：騒音に関する環境基準を達成しています。</p> <p>原因：公害予防に関する啓発活動等により環境基準が保たれています。</p>							

02 生活排水対策の推進

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
合併処理浄化槽へ転換した世帯数（市の補助対象のみ）	世帯	×	26	13	12	33	下水道課

状況：平成29年度と比べ、1世帯の減少となりました。目標値（5年平均値）を下回っています。

原因：転換にかかる費用の負担が大きいためや、下水道供用開始地域の増加、くみ取り槽・単独浄化槽利用世帯数の減少によるものと思われます。

03 犬・猫の適正飼養の推進

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
犬・猫に関する年間苦情件数	件	◎	56	31	18	31	生活環境課

状況：基準年と比較して38件減少して、目標値を達成しています。

原因：県と連携するなどして、犬や猫の適正飼育を推進してきたことによるものと思われます。

04 美化運動の推進

成果指標名	単位	H30 評価	基準値 (H26)	29年度	30年度	目標値 (R02)	担当課
公共の場所が清潔に保たれていると感じる市民の割合	%	△	69.1	72.9	70.8	80.2	生活環境課

状況：基準年と比較して、1.7ポイント上昇しています。

原因：環境美化活動等により生活環境の保全が図られていることによるものと思われます。